

製品安全データシート

1. 化学物質等の名称及び会社情報

製品名（製品コード） Dna Quick II (Genomic DNA Separation Kit) （カタログ番号：KHK003）
会社情報 株式会社ケー・エー・シー
〒604-8423 京都市中京区西ノ京西月光町 40 番地
（お問い合わせ窓口）試薬事業部 兵庫県尼崎市久々知西町 2-1-20
TEL：06-6435-9747 FAX：06-6435-9748
Eメール：shiyaku-info@kacnet.co.jp

作成：2024 年 12 月 20 日

推奨用途及び使用上の制限 研究用試薬

2. 危険有害性の要約 （以下、SDS は単一物質としての評価に基づき作成）

GHS 分類 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性（区分 2A），H3
注意書きも含む
GHS ラベル要素
絵表示



注意喚起語	警告
危険有害性情報	H319 強い眼刺激
安全対策	P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。 P273 環境への放出を避けること。 P280 保護眼鏡／保護シールドを着用すること。
応急措置	P305 眼に入った場合： P351、P338 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P337 眼の刺激が続く場合： P313 医師の診察や手当を受けること。
廃棄	P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。
他の危険有害性	なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名・一般名	ヨウ化ナトリウム NaI
分子量	149.89 g/mol
CAS 番号	7681-82-5
化審法官報公示番号	1-442
含有量	41% (W/W)

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し新鮮な空気を吸うこと。気分が悪い場合は医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚を流水／石鹼で洗うこと。皮膚刺激がある場合は医師の診断を受ける事。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	口をすすぎ、ただちに水を飲ませること。医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	咳、咽頭通、頭痛、発赤、下痢、吐き気、嘔吐、全身感作。
応急措置をする者の保護	データなし
医師に対する特別な注意	データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	周辺環境に応じて適切な消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤	データなし
特有の危険有害性	火災によって有害（刺激性、腐食性、毒性）な蒸気を放出することがある。
消防を行う者の保護	消火時には、化学用保護衣や空気呼吸器を着用する。

特有の消火方法	容器から極力離れて消火を行う。消火後も大量の水で容器を冷却する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	適切な保護具を着用し、吸入や皮膚等への接触を避ける。十分に換気を行う。 危険なエリアから避難し、専門家に相談する。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法 及び機材	物質を排水施設に流れ込まさないなど、環境中へ放出させないようにする。 安全が確保できるのであれば漏れを止める。漏れ出たものを容器に回収し適切に廃棄する。
7. 取り扱い及び保管上の注意	
技術的対策	項目 8 を参照し、適切な保護具を着用する。
安全取扱注意事項	目や皮膚との接触を避け、吸入を避ける事。
安全な保管条件	強酸化剤、着火源から離し、密閉して保管すること。
安全な容器包装材料	丈夫で密閉可能な容器を用いる。
8. 暴露防止及び保護措置	
保護具	
眼／顔面の保護	保護眼鏡、ゴーグル、フェイスシールド等の適切な保護具を使用する。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣やフェイスシールド等を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
呼吸用保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	結晶または粉末
色	無色～白色
臭い	無臭
融点／凝固点	660℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	1304℃
可燃性（固体、気体）	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界 ／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
pH	8～9
動粘度（動粘性率）	データなし
粘度（粘性率）	データなし
蒸気圧	1 mmHg（767℃）
比重	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
10. 安定性及び反応性	
反応性	空気中で吸湿性あり。
化学的安定性	標準的な大気条件（室温）で化学的に安定。
危険有害反応可能性	強酸化剤と強く反応する。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	強酸化剤
11. 有害性情報	
毒性情報	
急性毒性	ラットの経口 LD50 が 4340 mg/kg（RTECS_1997）より区分外
吸入	データなし
経皮	データなし
皮膚腐食性／刺激性	ウサギの皮膚刺激性試験において中程度の刺激が観察された事（RTECS_1997）より区分 2。
眼に対する重篤な損傷性 眼刺激性	ウサギの目刺激性試験において中程度の刺激が観察された事（RTECS_1997）より区分 2A。
呼吸器感作性	

又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし
12. 環境影響情報	
水性環境有害性	
短期(急性)	データなし
長期(慢性)	データなし
生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
魚毒性・その他	データなし
13. 廃棄上の注意	
廃棄物処理方法	内容物等は、関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い、産業廃棄物として適切に処理すること。
14. 輸送上の注意	
国際規制	
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない
国内規制	
陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない
15. 適用法令	
消防法	該当しない。
毒物及び劇物取締法	該当しない
労働安全衛生法	
特定化学物質障害予防規則	該当しない
有機溶剤中毒予防規則	該当しない
名称等を通知すべき 危険物及び有害物	法第 57 条の 2 (施行令別表第 9)
名称等を表示すべき 危険物及び有害物	法第 57 条 (施行令第 18 条)
がん原性物質	該当しない (労働安全衛生規則第 577 条の 2)
化学物質排出把握 管理促進法	該当しない
16. その他の情報	上記の情報は調査して記載しましたが、必ずしも十分ではなく、すべてを網羅しておりません。 また、何ら保証をするものでもありませんので、取扱いの際は十分注意してください。